金引替そ金卅五銭前送そず

校術員養成廣告

振臂 京場 二〇二三番京城蓬萊町一丁目八八

博

文

書

舘

神經衰弱。

에외

『五 正當を價格の日本の一下の一下の一下では、

諸雜誌口繪、

寫眞出寫

應用版

紀念寫眞帖、

紀念五

ハカキ

製版印刷

六片なき器機

金澤

地

店

闄 持 鮮 英 労 偽 親 味 仁川府龍岡町二十+番地 同議事や二銭切手号添送すり

腔

俞

智丽 水局一三番

鮮及海外の直販資む (在庫物品豐高)工場の4製造年で 諸般各様式 ユキ靴 る全行はり為の中 昨年度早日 造織名 朝鮮ユキー 中日社の4七 自作自給の 精神す 更一層實

引替そ金卅五銭前送そおれまな、19年4年間小販人荷耳の外上日間小販人荷耳の外上日間小販人荷耳の外上日間定許の七本品を舊冬以來品切り定許の七本品を舊冬以來品切り

の12を受悟がハー斗 の12を受悟がハール の12を受ける の12を使ん の12を使ん

外有色液器 自習 # 遊行司 (根) の で (現) で

小老草からなる

人



真正や奇楽



感謝かる기並の謹告さる問受かる立該社의 確實 さ信用み結婚의對さ共助費金み 既納さ保入の京城蓬萊町廣濟社婚事部の 開城郡松都而南本町四五三 과保에 迅部が速量外

古话典

藝演學獎胞同滿在

登緊張充實게함에 原因的**으로快治**하 刈けり記聞

宣奇康錄藥

代金引換を記録替いの

一角三十日分

|類々む雑念の로臨枕幾時景過む日を睡眠||新名の豆刃りと見||類々む雑念の로臨枕幾時景過む日を睡眠||サモユリアもから見||を選出的の哲問はのより||多難病の無時見層生疊出的の哲問はのより||対失的立精神の日夜五里霧中斗如は陰鬱|||重ユゼウリキのはハスー々の説明が難む許| 長久玄經驗上眞理の符合さユ妙を得立日々顯然하게精力を伸張하고生活

ハエ同業諸位や本舗注文でや谷慮薬局商居をお販賣金を終

《益々愛用

朝鮮ユ무工場

東昌

京城舖路一丁目二十八番地

全鮮總販賣所

振替

京 城 六六四七番

最新式改良靴膏求か

라면

|朝鮮靴斗無異하ユ暴利を取って朝鮮同胞の手では製造す

引二豆件斗서職入刘の之故呈 海關稅小無

普彰醫院大藥房

京城府授恩殉百十九番地

では、 型成で吸促迫。
こ非常可苦悶が七皇 では、 性間で前や普通平時斗如が十午後や耳曳身熟 は、 性間で前や普通平時斗如が十午後や耳曳身熟 は、 とき 単いすは常さ年氣の小額色蒼白生氣情然から が一次がの半身不隨斗如が手足のピリリ言語 がか不分明が五或行步外輕快対失が五便通 がか不分明が五或行步外輕快対失が五便通 で力むと

列服薬が

쎌 <u>e</u>

多少不顧親切叮嚀かるり 一三八番地 版 所 業

我朝鮮人界の 京城府樂園洞 30 10 10

ぴ゜

了目大漢門前 大場 又京城府太中通二 大場 又 無料二一圓以上(特約店所可)

一子高會

진찰시간

毎中無休目宅就職器具貨與製品當店新案美術立斗報修繕法地方通信教授新案美術立斗品製造法地方通信教授

雅樂의新舊歌舞及正 議潮 五一日日 範 唱種劇劇蹈樂眞

71						
١	◇中國政局◇	土	田量単級長では上水が最近では、マトラが天光三子と記述など最大単一小場で末松、站具寺側の各委員中小「QIIII四百名の里碗」門機関統二「11」會議室のは開合がみ和田財務局長「22年と中日下元山の在む白年も建	. 形	一大人 一大线二里精局八十段 一大线五十段叶六七十二题四	牌の止む399 4十一丁高旬初付むり 一中今前309至至り4大阪初付三十二一十銭22漸高八服モニナ六個○五銭22前止伐2 七銭3 稍り軟味29場十止む3モニ四十銭※付り41金第一節 「常中州服モ不成の 450~七数防物の赤瀬出せ22結局〇十四十銭※付り4)
1-	吳鄉奉天討伐理由			手形 司成十名譽職ニ里斗正郡守의指 一七直員一人士置当 一七直員一人士置当	灰 二 品 大新九四 安取 二三 前出	九四九〇《对院返补》以外五国九十五线二人省一節,以中有最も不成中二三七〇二十五國九十五线二星六國〇三线 報音機하五立會的以 《第二節》當假そ不成中中限4 國四十六銭二里二節三十九錢
\$)	「規測す綜合サラ県佩学氏의 奉天派討伐の口實・左の二項の節者が《奉天治》 県佩学氏ル 奉天派の 對かり 教がと態度の関かり奉天派	大丁 は交 く 上丁 出支	* t	一枚金额七千十七萬五百五十一事務手掌理引工所屬直員士監督等領土合計枚數十六萬一千五百十五本非主文廟平亭配及管守中關社	仁取	九銭々の品牌で後の三銭可止がは、前付がみ、九銭々の品牌で後の三銭可止がは、前初付がみ、一大銭々の品牌では、一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一
新二·第	要す直路と手没き帯で対すりを手引引 反大コ女子引引になせり給一、飛作霖氏の二十一個條問題の 勢も態度を非難がユ中間の関連機です	多人是人人的影响	以中間題用中毛中此三日鮮日 差去十八日山京下村台併用假契約日 在前門人審查員用姓名者列記 刘女司世 私 數資本狀况 三個	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	限 1111五、00 11111六、四0 中	十二窓々对小高寺立先限そ○三澤 限せ不成り可中限そ九十銭・呈力 阪地後報七末数・呈数
	を抑制され似が態度を執ぎを開きごれなり故る 此を討伐人やドキなな。	4開催せ勞農及 防護會議共同委員會の討議事項の對하り如左司報刊 (哈爾賓士八日發電) 如多政府原開紙「何ヱ」・小來二十日英斯科	朴在 中費	比する枚数九千四秒が更も此ま一月	*	下止計中 「銀代对下押包接○二錢」八〇七錢可止計
	おそ不法判獨立的行動を執むも南北も益々不統一の习れなの引、南北統一を目的으로も張作霖氏里が昨日 東三省聯省自治の斗	一、極東革命委員會極東產業局其他勞農 機關习宣言及組織で對非勝。計分可斗	「考品七一室の陳列かの観覧がかり」四二年道金 公務資水金一千増加・確實を決定を見ががおりかり日本の中	タモヨ三月中交換観写内容 本令も設布当日呈早日此号施行も百九十二萬一千八十二闘・ 附 則	限:四四、九〇二四四、五〇二新四〇八〇段:四四、九〇二四四、五〇二新四〇八〇	四〇九〇小無お五當中兩限七不成の可先限 吸モニナ六베〇上の九〇小無お五當中兩限七不成の可先限 吸毛二十六베〇
	『應対の日をきる預料が立正式으로 討伐開始令を出列が中即時討伐 11、北理山星繁總統の對が中 此取消命令を發する勿論の中張昨霖氏小此	伐二、極東在住外級人・星が昨子 勞慶共和國の法律・進奉刊な事此) 討談な事	間のそびす今年の七七十間を擴大、萬側資本現在計三百二十七萬圓二 地のそびす今年の七七十間を擴大、萬側資本現在計三百二十七萬圓十七章左三十五萬陳列間數七四年一百三十二萬圓拂込金三百萬圓借人金二十七章左	府合第百	切所仲以人 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」 「一年」	四一一〇一条第五節 阪地三節三十八銭。三十八次地六節四十八銭3低銀升月 一十五銭3億計・九銭9万階返す。
\	月以内質現む含星形勢外 切迫がからき預想が一者外有が小現在でき開始なべる奉天派の観測を右斗如が八其中の七其進軍討伐の一		「十一一」は「「一」は「一」は「現場」を発展を表現である。「一」には、「一」には、「一」には、「一」には、「一」には、「一」には、「一」に、「一」に、「一」に、「一」に、「一」に、「一」に、「一」に、「	川 10、200 八01八里三 者七本令の依朴・任命計刈名者至川 10、200 八01八里三 者七本令の依朴・任命計刈名者至	有價證券 是一四一番大新九五三〇	九五四〇 天 小长 能设 仁川府本町
ተ፣፡-	大派のそ風雲の急号を認む何勢の徴候が無お立ちの開舎緊駐屯の 大派のそ風雲の急号を認む何勢の徴候が無お立ちの開舎緊駐屯の	斯 一		京皇 司司第101 納稅義務法人數 司司第101 納稅義務法人數	電話長六五〇番仁 取	10:100 日之 夕 之 來志光
年二	英一月 長 免 古 、	- 米國軍艦主砲改造	コージト記上漫画地丘湾の中の中心現在計四百七十萬圓一株拂込十一十四年の午後五時の村上親鸞科七大人・拂込三百萬圓借入金百七十萬圓資一年	新、1公里 10七	來今週週	五二八〇 肥料~豆蟹每尼豆
	《北京十九日蔵龍》 多額可印第一長作 下大况	南部《村行》海軍演習의終了後艦隊小塚港等男大統領『等习。記代《程育记》 難必領『母本』に紙で日米関軍艦の主砲政造七五月初	••	14、 15、 15、 15、 15 15 15 15	路 解 寄 引四月二十日前場	五11110 多受하五當中兩限七不成の十先限 ▲第四回 當中兩限七不成の引 - / 稍々反騰す中四的四十二鼓り高報 司○九銭二反落の中止が引
			品大正十一年末年全朝自動者營業者 产生業一鐵道 公稱資本金五百 一京城市	業會議所期查三月末現在京 株式會社 1七〇 上山牧547年 社人教 社人教	九五、五〇 九六、九〇 宋週	五二八○四十九銭の又復高價叶七傳說者據 落む後十段二三反應하中止하叶五二八○四十九銭の又復高價叶七傳說者據 落む後十段二三反應하中止하叶
	△可其同時の共謀者の印刷局長炳中の司其成績の頗可不好を母の重化用の一方子の外に対している。よの一方本無能江方面の新可軍兵を奏	3) 遊露順海湿條約4ユ精神MモN 将又條文3上Mモ지米城軍艦3集 하め可り	整め合計や千九百五十里十五町の町、株排込二十個開業線百五十哩 城和の数や百四十三名●呈選輯區出資里 英良排込二百萬度資本金在同上] リオ	貸出4朝鮮 株式合資會社 1111	三の八二〇三の八三〇	以十五线り確報斗共前○七錢으로 其後五十四錢以小高量受하고도目 市立十二錢4以返戻前吳月外其後 ▲浙五仰 阪地七向四十九錢二
	兩人を財政總長劉思源氏の心腹の はことの上京小不長れる目言を大夏でのみの職の日内のりかりた 特校の素質を直隷軍の比하の次	等 発育等のようりととり 先星を表表すしるのも尾蓋り文書を行いる 強攻音を禁止するのりずの 米岡海軍を世界のの登録の比較なる		其他 9 法人 八 八	四九二〇四九四九四九四九四九四九四九四九四九四九四九四十四十四十四十四十四十四十四十四	見 店一丁り付み
	雑おユ或や刑事上日間阻小者リエ 岩軍漢字を設告すけずと敵人リーニ星劉氏互共司責任者小号を受引 投むの兵器版の建設者のタムエ	不一條的を中央承監の単造を終上は言い見記が近いるのでは「監の文法の、中央他諸國の日極々の方法の己米國の同様の政治を行むと中海統一の基準の		合計數 一六七	101110	の「気を見は(形勢小高)」にはみれる大番の月廿十日前は、一年の一年の大戦の
- 1	王正不 人會見 不能抄狀勢可以故是一般部下之眼海不知也可可引	第次官『子ムリモ三』氏と 前週最後の倉織を開かれ本川 題所を決立關係小無か	関 百三十五萬五千七百六十八圓(一 阿江拓林 外稱資本金1千翰移二三千八百六十五圓の對非呼收入三 阿江拓林 外稱資本金1千翰移	十五萬三千百五十四則の脅加總督府の月七二十日午後一時早日入品九萬六千九百二十一圓合 新世 大僧 円協議	1二七四〇 1二七六〇 綿外	及後十丁反騰自高報を受引五二十年後据を阪地三十二國三十五錢日
	(奉天十八日發音) 露中交渉り 意見入前途の形勢を悲観もひちを (奉天十八日發音) 露中交渉り 意見入前途の形勢を悲観もひち	別の外で引き、独材料を蒐集する	百十二萬四千四百四十六圓(一輛,現在同上一株拂込五圓米開業線二、砂啡輛平均六千二百九十六圓)支出三、「一十十五人」五	米二十萬四千九百五十五圓、一一八八四十二十五日十三日の京場が一十二十二日の京場が一十二日の京場である。	四月二十	の川上前段上浜は計斗十号町上寺 池む十五後二星返るベス返戻す 男子印其後返地 早村三 限令十銭の始かゆ(て具〇五銭 4 始前の二節の〇九銭
羽	會見おり七日四五日後哈爾省の豆 北軍事退	「	『比むり約一割頭引利益を得むり 進捗も男新食社七公称資本金六千 『エー』 萬一千三百二十二間資本額 四合同『條件其他小現在『狀態』 白米	輸移入品中可互砂糖一萬五千 人事消息	無代進 呈 同大名	別す 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日
	定文作 中日 完全的廣東の日際退日ませる日本	改 接指揮す州国史引や日同氏小 元老院議員『母斗△』氏斗協議하五段文 ●』 氏小園際司法裁判所加入→提 議並事刊對하4民守黨司策戰→	おり全然句合対の分かり合うを密察する萬周の事業資金を発む立など、領令が句合対の分かり合うを密察する萬国の借入金即合計千三百四、萬八直、支出中のそ盾だ資本の復共移立等「丁丁二萬四、持近ではプロー	た中如하다可引 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	年の判断を持さらず 同雄同の中が料・一般を持ちら前 同の別山の中では神風の七年の前	そ勘地形勢や昨後搗り阪地高調のユニザーの一般一弛り保勢を維持がユースープリープリーの
鮮	「春天養地」 目下喜峯口方面の もち此小最後の戦の中がめる	おり足む거나又或米関の國際裁判所参加の 関む彼計濫者全然抛棄。 1908 氏足むの子米関の無條件の豆関際聯盟及 國際裁判所の参加		產品	(圖) 甘胃 含語 查部 無 市 飛 水 米 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水	可幕者脱む天む感の有句男人中高 一節 二十七則年制马中二十七則量者破壞む閑散 公 定 價 格
	大衛局・此号否認引工張作霖氏を 出日大学上電話に	八十美一号選擇州を計載を定すめて可引		110、一大三 後七時簽釜山方面出張 一次の九、二一五 後七時簽釜山方面出張	17. 义 17 17 同 金州 地金布進軍	D整星页落外作聚合量是可外之对 四面 二元正平如前伸力对关的工士钱墨可以 三面 二元信代。夏万冬劝以剿不忘者。是罪 二元 二元
	吳佩学を財政難の関係上率天の對 き締結む作り関むに曹麗氏と、之挑戦対いりを旨を整明むの目下 抵當・豆英國人斗六百萬元のは、東京の一番のよう。 あっちょう 見り続い	東京電 二十日々本定例閣(東京電) 二十日々本定例閣	雨二回\$**的一回是\$PA以下废的聚 三 以 后 号 维·七里二十五町、一口9簽回数三十 預金貨出狀況 大	八七二八九八二八九八二八九八二八九八二八九八二八二八二八二八二八二八二八二八二八	雙女山	
E	力泰直戰の開始の阻止を意志の今見与司英國公使の向かの右借款の本	,快定警必要小生可交合。至午前 1971年,60人口,30日,60日,1980年,1980年,1980年,1980年,1980年,1980年,1980年,1980年,1980年,1980年,1980年	鮮・多すユ西は朝鮮・渺・理由と 国元増加 麻北、江原道等順序で中一般・南朝 ニューア 子	11二、六五九 ▲安達金之助氏(米四十二、六五○ ▲渡邊四廿子氏 同	学 仁川	余旭の附句括氣を帶みユニ十除丁 ::1 二十旦後年の従みの當地亦底堅の怨を作みを 初付 二十旦後年の第四員氣をは可の仰然上がもの 二十日後年
		タンマ共間題と浦鹽政府の暗號市 日政務審査第六部會を開立五有の十一時早の首相官邸の서開か州耳 (東京電) 日本研究會の月二	吉益当上二年十月十二月年十九十二十五十二十五十二月四十三月七十七日十八日日間にも所以の中但其利。銀行三月末日現在帳尻で依ず男台十一南朝鮮地方の道路小比例的完備な「東創銀行のお調査を朝鮮内六組合」	そ四月	歩調六八十銭・三結局九 (別大新・九十四圓五十銭 四月十一年)	突破七圓臺) 對見亦可以與物學其際的學際說到 安備 二十七圓〇四段 一九月後場 可樂高景示亞和外先限戰可豐筋貿 高值 二十七圓〇四段
報		立事件 明き聴収を引の可引	記を負担重要なからかけたでは、「大手を向して、「「「「「大力」」というでは、一般の少も所以を道路の不良の故、九十五個、貸出一億六千百十三萬紀 名巻子」近の女は名章無子近ち。 『『丁』 「「「「」」「「		注号周比十選ュミル十選州比 ここと 錢 4 星同新を四十圓八十錢 6 石川府・川田村 9 五仁取や一百〇一圓 ————————————————————————————————————	鳥の雌雄を果然判断が難すい版作 14 一様様と可比を注目する一般市場を 2 位 俊 女
	(四里道殿) 佛國母 暗页紧急跳员 自耳囊叶阴壁 科 四大信息 条 人,谷	國庫證券問題 劉子次と日子	1949日 194	八六八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	計	今村是大郎中等教中有上手并并是表现成者四節 二十七周十段 二章中号所作買人 早鞘四百四十丁可用到底有實際社 二節 二十七周十一段 二十七月十八日
	● 로하ュ『씨』公債 로서聯合國間の發信を相殺立자하中半官報の第一百二十一年の支拂方法の 準據も者の『のの』の公債を五百億金貨	はせ、ひ臨時岡庫證券五千三百萬圓の對 一窓、一室、 座、 医皮質・ (東京電) 五月九日を期限満了 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	金剛山水電 供 罗勒曼貨用超過額三二月末現在之 其五百六十圓の各々增加引工及預金 綿	在 五、六〇〇 孔念頭の一身以外之上の不むの司 五、六〇〇 孔念頭の一身以外之上の不むの司	Y 叫 錠 寸比 浴	の 云々 取扱っするうまで、3 まの以て 五節
	法争股하り斗斗獨逸の外債专募集 하五賠償金者支拂背の依하の佛白 今回の賠償案 の主要も特徴を獨逸の對하の迅速可支拂がも奨励の方	希望하七叶 政府七 亦是交換發	等一千大百基、第二期明年同月三千 「十三月末や四千九百六十八萬八千」(1)金剛山電鐵3水電を來九月第一期 四千八百三萬一千二百四十八圓9 計	移入品品	上銭 かった 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	D三十八後の豆連節衝更せん節に及落す気み外五節の入みの原わり五節の入みの原地にいっている。
	個年으로延期す立千九百二十一年 9 賠償案斗と相異すなない。 兩國の外漸次『早1の』地方の豆早な撤退をおの内支拂期限を三十五	一五 · 行動外の他途小無社會正思考的 女學校卒業者中同等以上可學中五 · 行動外の他途小無社會正思考的 五中學校或之修業年限四年司五	(き)此府内配給(動力用)を目下東京の 寛七千三百三十五圓の増加す五全 要等五百基を京城の送電하列用サムル 五百八十三圓の足結局一百六十五 米	五九、四三	市十六個八十九後	略かり十二銭の三奔騰がある北北邊 本期総取組兵工銭の高報を受か五買氣俄然沸 買買總石數「五銭の「五銭の」
ß	佛獨逸官吏放逐	十年歳 一名 一十二年三十二十二十年 中衛洲財界救済資金・豆三千萬間 行	予對하り問題中心テーリョテリーを百六十五萬餘関の増加むりの朝鮮組合銀行の帳尻三貸出超過	収紙 二七〇 豆科阿房宮や草高樓巨閣を刃の一九、四六〇 族の名位を外科榮華外高貴を誇	銀新十二二十十分	人仁川海岸町
4	スト 日 郎 上 田 田 上 田	通者を困難が子或程度な지融通が、可依が作指定的學校小無がない。對要求外如可資金を預金部至早的融資を者外無な。己言行の不此也	り京竜中競爭が見原質と低級を取り「價値ル有でり取り此現象や窺知な」程大抵金剛山→直接府内の供給から「同定預金貨出の増減や一層注目なり。 同じ 日本語 国下料金の決定の問題ルログニョ	八 、	立立会はいる。	
九	占領地制裁 北南國關係小察派並故是基督	銀行合司調可 校中的王新合母趣旨是體幹時可可可	科師総督司召の星州此の對立火力發 問問題小耳刀小斗聖者思惟却工學 毎年定時引謁水期の際の必發電の問題犯小耳刀小斗聖者思惟却工學	一、三二〇 寬子香行郭九梁初考與々可建築二四五、四八六 世猝地の王公貴人の君三八郭外	〇四三二〇番 京東市賣	後場前場後場 休名 有週中中 來週中 一
百		++ 連、奉天の四銀行、代表者等の十 充實を期から其成績の漸次可見『中 (東京記) 満州商業及遼東、大 を採用が中設備を改善が立内容です。 「記載」でして過ぎて又保食を発	整 能等の豆此際京電斗協定する此不地 電 電き設備対のりおり結局給電の不	- リー・神は双天神は音を刊るななか	一段解銀九十二圓電與三圓二 株名 前場 電略『ニ』父を『カネタ』	前場 後傷 同新 ()
	出り開き明白年最初日決立せ『十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	緊急設片山掛井の理事所川崩東 コ優良を中等程度コ各種學校八日午後の朝銀支店の参集すら美 中가冇すり合の對おら今後そ	其補むや雙方を為かゆハな良策の見京統便を除める母家電の原價高率を相	1	足止す可引	
ħ.	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	交換者行命以七日十九日叫全然間 初命立男子可對部中七中學校應事務官 立會下可 合同契約書司 宗教學校司斗一般各種學校司	女一六百基斗十月一日麻浦鸟火力增不,又京宿에は七以上第一期의一	引き対け犯罪姿の小愛婿の名義是	小動車原	
+	獨失業者暴行 振せき北部薩哈陳島「せ引つ、	少三一谷の對する七条銀行の代表者小照 女學校卒業者斗同等以上の學文電子 印き終了すり立而且合同契約の四十回對のの七修業年限四年の京	(9) 1萬一千一百基現在印約二倍升到元山,三、宝、三〇 一	「設立の認可も旨き四月二十一新別業を舗置せてそ樺樹門지せな乃三十一日附呈左記公立師範型 西山南で水石の清潔せみき探が中	そ大新の九十六圓四十銭으로 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	##000
	多色	大小八發表刘小川的川耳少七川其病可非各銀行株主日諒解を得す	日本とは日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	列立補藥の家外五付豪心者按住	大新辛九十五圓三十錢寄付 阿新 高甲人氣七大新時勢呈立倉部 [1]	
四		教寺の新規行改立等手資と今後中間上の事指定學校等卒業者外の網子既報寺のオリリ各行を為先解したり書記書きの復生を記する。	本有がいりみの一般である。それの一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の	1月年兼行 - 新原具 常華燭で六十老寡婦小少年僧侶を女雨道公立師範學校 - 米替の七楊小游り行祭をそみれ高	おの八十銭の刀歩の五更の七一年銀一日歩調四五十銭平六七十銭二日	第10
12	一・「神子」の三六名の資格者を生む「瑞典の『本サコの五」内閣を	同國十十十 一切中山地事小專然此号將任かり至耳を見り日本文部大臣の指定も娶る山地事小專然此号將任かり至耳を見り日本文部大臣の指定も娶る	谷 1	「比が後れげ」「「とう」というない指数から撃論をなりて北道公立師範学校」「よりに脚を対引ユ高級が気斗▲ットではあり、	錢可止的B、五仁取七一百〇四新/街三四五十錢,來往前斗外結	18:0
5 ,	「う」人にという 一般解職で事と既報が中のドキ今回 政界の難問題の失業者手當問題の 政界の難問題の失業者手當問題の	日公使歸國期 美展評議		文廟職買規定公布 中七天理七旬以지만七寸만蕭瑟的一本 町 2寸の元十十七前義州府 本 町 2寸ののこれで打造でき水人の獨字が一本 町 2寸のの	上中央の世間できなり (1) 取る二十三四七十銭の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	同新(高)
	51	伝常 4 日本小幡公使モニナ七日天 去十九日午前十時早司總督府第一北京十八日簽贈) 確開む40 第二囘朝鮮美術展覽曾評議員		数	一般の見記局五十位 日止れた十二回四十段各付下中北部	11 11 京電(新元) 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
-						

3•40一後

後 8-00 | 後10-20|

で数号

|後 1.50

対対

對 8-15